Simplex

Asset Management

平成 28 年 12 月期 (平成 27 年 12 月 5 日~平成 28 年 12 月 4 日) 決算短信

平成29年1月12日

上場取引所 東証

ファンド名 中国H株ベア上場投信

コード番号 1573

ハンセン中国企業株ショート指数

公社債 10 口

買理表 在 シンプレクス・アセット・マネジメント株式会社 URL http://www.simplexasset.com/

代 表 者 名 問合せ先責任者 代表取締役社長 水嶋 浩雅 業務本部 山口 節一

業務本部 TEL (03)5208-5211

有価証券報告書提出予定日 平成29年3月3日

分配金のお支払いはございません 分配金支払開始予定日

I ファンドの運用状況

1. 28年12月期の運用状況(平成27年12月5日~平成28年12月4日)

(1)資産内訳 (百万円未満切捨て)

		主要投資資産		現金・預金・ ² (負債控	その他の資産 除後)	合計(純資	産)
		金額	構成比	金額	構成比	金額	構成比
		百万円	%		百万円 %		百万円 %
2	8年12月期	897	(67.3)	436	(32.7)	1, 334	(100.0)
2	7年12月期	980	(61.8)	606	(38.2)	1, 587	(100.0)

(2) 設定 • 解約実績

前計算期間末		設定口数(②)	解約口数(③)	当計算期間末 発行済口数
	発行済口数(①)		711/1/3 [-1 886 ()	(1)+2-3
	千口	千口	千口	千口
28年12月期	130	40	40	130
27年12月期	90	200	160	130

(3) 基準価額

	総資産	負債	純資産	10 口当たり基準価額	
	(<u>(</u>))	(2)	(3(1-2))	((③/当計算期間末発行済口数) ×10)	
	百万円	百万円	百万円		円
28 年 12 月期	1, 373	39	1, 334	102, 620)
27年12月期	1,601	14	1, 587	122, 080)
	28年12月期	総資産 (①) 28年12月期 百万円 1,373	総資産 (①) 負債 (②) 百万円 28 年 12 月期 1,373 39	総資産 (①) (②) (③(①ー②)) 百万円 百万円 百万円 百万円 1,373 39 1,334	百万円 百万円 百万円 百万円 1,373 39 1,334 102,620

(4) 分配全

	10 口当たり分配金
	円
28 年 12 月期	0
27年12月期	0

(注)分配金は売買単位当たりの金額

2. 会計方針の変更

① 会計基準等の改正に伴う変更 ② ①以外の変更

無

Ⅱ 財務諸表等

(1)【貸借対照表】

		(単位:円)
	第3期	第4期
	(平成 27 年 12 月 4 日現在)	(平成 28 年 12 月 4 日現在)
資産の部		
流動資産		
預金	394, 719, 067	334, 689, 389
コール・ローン	17, 885, 448	8, 810, 402
国債証券	980, 735, 623	897, 813, 133
派生商品評価勘定	24, 904, 548	=
未収利息	26	_
差入委託証拠金	183, 118, 907	131, 814, 510
流動資産合計	1, 601, 363, 619	1, 373, 127, 434
資産合計	1, 601, 363, 619	1, 373, 127, 434
負債の部		
流動負債		
派生商品評価勘定	1, 776, 918	30, 615, 944
未払受託者報酬	510, 204	349, 846
未払委託者報酬	8, 163, 237	5, 597, 485
その他未払費用	3, 839, 617	2, 475, 177
流動負債合計	14, 289, 976	39, 038, 452
負債合計	14, 289, 976	39, 038, 452
純資産の部		
元本等		
元本	1, 300, 000, 000	1, 300, 000, 000
剰余金		
期末剰余金又は期末欠損金(△)	287, 073, 643	34, 088, 982
(分配準備積立金)	△36, 922, 614	△53, 930, 851
元本等合計	1, 587, 073, 643	1, 334, 088, 982
純資産合計	1, 587, 073, 643	1, 334, 088, 982
負債純資産合計	1, 601, 363, 619	1, 373, 127, 434

(2)【損益及び剰余金計算書】

		(単位:円)
	第3期 (自 平成26年12月5日 至 平成27年12月4日)	第4期 (自 平成27年12月5日 至 平成28年12月4日)
営業収益		
受取利息	17, 770	2, 671
有価証券売買等損益	△232, 556	2, 877, 609
派生商品取引等損益	272, 261, 847	$\triangle 146, 299, 613$
為替差損益	25, 200, 693	△69, 354, 420
その他収益	332, 038	536, 001
営業収益合計	297, 579, 792	$\triangle 212, 237, 752$
営業費用	·	
支払利息	-	470
受託者報酬	688, 868	726, 615
委託者報酬	11, 021, 827	11, 625, 737
その他費用	6, 138, 017	5, 194, 087
営業費用合計	17, 848, 712	17, 546, 909
営業利益又は営業損失(△)	279, 731, 080	△229, 784, 661
経常利益又は経常損失(△)	279, 731, 080	△229, 784, 661
当期純利益又は当期純損失 (△)	279, 731, 080	△229, 784, 661
- 一部解約に伴う当期純利益金額の分配額又は一部解 約に伴う当期純損失金額の分配額(△)	_	_
期首剰余金又は期首欠損金(△)	190, 962, 563	287, 073, 643
剰余金増加額又は欠損金減少額	128, 500, 000	123, 400, 000
当期一部解約に伴う剰余金増加額又は欠損金減 少額	-	-
当期追加信託に伴う剰余金増加額又は欠損金減 少額	128, 500, 000	123, 400, 000
剰余金減少額又は欠損金増加額	312, 120, 000	146, 600, 000
当期一部解約に伴う剰余金減少額又は欠損金増 加額	312, 120, 000	146, 600, 000
当期追加信託に伴う剰余金減少額又は欠損金増 加額	-	-
分配金	-	<u> </u>
期末剰余金又は期末欠損金(△)	287, 073, 643	34, 088, 982

(3)【注記表】

(重要な会計方針に係る事項に関する注記)

1. 有価証券の評価基準及び評価方法

国債証券

個別法に基づき、以下の通り原則として時価で評価しております。

(1) 金融商品取引所等に上場されている有価証券

金融商品取引所等に上場されている有価証券は、原則として金融商品取引所等に おける計算期間末日の最終相場(外貨建証券の場合は計算期間末日において知りう る直近の最終相場)で評価しております。

計算期間末日に当該金融商品取引所等の最終相場がない場合には、当該金融商品 取引所等における直近の日の最終相場で評価しておりますが、直近の日の最終相場 によることが適当でないと認められた場合は、当該金融商品取引所等における計算 期間末日又は直近の日の気配相場で評価しております。

(2) 金融商品取引所等に上場されていない有価証券

当該有価証券については、原則として、日本証券業協会発表の売買参考統計値(平 均値)、金融機関の提示する価額(ただし、売気配相場は使用しない)又は価格提供 会社の提供する価額のいずれかから入手した価額で評価しております。

(3) 時価が入手できなかった有価証券

適正な評価額を入手できなかった場合又は入手した評価額が時価と認定できない 事由が認められた場合は、投資信託委託会社が忠実義務に基づいて合理的事由をも って時価と認めた価額もしくは受託者と協議のうえ両者が合理的事由をもって時価 と認めた価額で評価しております。

2. デリバティブ取引等の評価基準及び(1)株価指数先物取引 評価方法

個別法に基づき、原則として時価で評価しております。

(2)為替予約取引

原則としてわが国における計算期間末日の対顧客先物売買相場の仲値で評価して おります。

3. その他財務諸表作成のための基本と外貨建取引等の処理基準

なる重要な事項

外貨建取引については、「投資信託財産の計算に関する規則」(平成12年総理府令

第 133 号) 第 60 条及び第 61 条にしたがって処理しております。

(貸借対照表に関する注記)

	区分	第 3 (平成 27 年 12			54期 12月4日現在)
		(平成 21 平 12	月 4 日現住)	(平成 26 平 .	12月4日現住/
1.	信託財産に係る期首 元本額、期中追加設定 元本額及び期中解約 元本額				
		期首元本額	900,000,000 円	期首元本額	1,300,000,000円
		期中追加設定元本額	2,000,000,000円	期中追加設定元本額	400,000,000 円
		期中解約元本額	1,600,000,000円	期中解約元本額	400,000,000 円
2.	受益権の総数		130,000 □		130,000 口

(損益及び剰余金計算書に関する注記)

	第3期	第4期
項目	(自 平成 26 年 12 月 5 日	(自 平成 27 年 12 月 5 日
	至 平成 27 年 12 月 4 日)	至 平成 28 年 12 月 4 日)
1. 分配金の計算過程		
A 当ファンドの配当等収益額	349, 808 円	538, 202 円
B 分配準備積立金	△19, 423, 710 円	△36, 922, 614 円
C 配当等収益額合計 (A+B)	△19, 073, 902 円	△36, 384, 412 円
D 経費	17, 848, 712 円	17, 546, 439 円
E 収益分配可能額 (C-D)	0 円	0 円
F 収益分配金額	0 円	0 円
G 次期繰越金(分配準備積立金) (E-F)	△36, 922, 614 円	△53, 930, 851 円
H 口数	130,000 □	130,000 □
I 分配金額(1口当たり)	0 円	0 円
2. その他費用	主に印刷費用、上場関連費用	同左
	及び監査費用等であります。	

(金融商品に関する注記)

I 金融商品の状況に関する事項

	第3期	第4期
	(自 平成 26 年 12 月 5 日	(自 平成 27 年 12 月 5 日
項目	至 平成27年12月4日)	至 平成 28 年 12 月 4 日)
1. 金融商品に対する取組方針	当ファンドは、証券投資信託として、投 資信託約款に規定する運用の基本方針に	同左
	従い、有価証券等の金融商品に対する投資	
	として運用することを目的としています。	
2. 金融商品の内容及び金融商品に係る	コンプ・「100日日民で主人人人人がた	同左
リスク	しております。公社債の投資に係る価格変動リスク等の市場リスク、信用リスクおよ	
	び流動性リスクにさらされております。	
	当ファンドは、外貨の決済のために為替予約取引を利用しております。当該デリバティブ取引は、ごく短期間で実際に外貨の受渡しを伴うことから、為替相場の変動によるリスクは限定的であります。 当ファンドは、運用の効率化を図るために、株価指数先物取引を利用しております。当該デリバティブ取引は、価格変動リスク等の市場リスクおよび信用リスク等を有しております。	
3. 金融商品に係るリスク管理体制	委託会社においては、運用関連部門から 独立した部門であるリスク管理統括本部 が各リスクの管理を行っております。 リスク管理統括本部は、定期的に各部署 からモニタリングの結果の報告を受け、必 要に応じて関係部署より意見を求め、リス ク状況を取りまとめ、その結果を取締役社 長に報告します。また、必要に応じて取り まとめ結果を取締役会に報告をします。	

Ⅱ金融商品の時価等に関する事項

T 不関的四から間子に関する主義		
項目	第 3 期 (平成 27 年 12 月 4 日現在)	第 4 期 (平成 28 年 12 月 4 日現在)
1. 貸借対照表計上額、時価及びその差額	貸借対照表計上額は期末の時価で計上 しているためその差額はありません。	同左
2. 時価の算定方法	(1) 有価証券 「注記表(重要な会計方針に係る事項に 関する注記)」に記載しております。 (2) デリバティブ取引	(1) 有価証券同左(2) デリバティブ取引
3. 金融商品の時価等に関する事項につ いての補足説明	「注記表(デリバティブ取引等に関する注記)」に記載しております。 (3) 上記以外の金融商品 上記以外の金融商品(コール・ローン等)は、短期間で決済され、時価は帳簿価額と近似していることから、当該金融商品の帳簿価額を時価としております。	同左 (3)上記以外の金融商品 同左 同左

(有価証券に関する注記)

売買目的有価証券

(単位:円)

種類	第 3 期 (平成 27 年 12 月 4 日現在)	第 4 期 (平成 28 年 12 月 4 日現在)	
	当計算期間の損益に含まれた評価差額	当計算期間の損益に含まれた評価差額	
国債証券	∆355, 368	1, 378, 482	
合計	∆355, 368	1, 378, 482	

(デリバティブ取引等に関する注記)

取引の時価等に関する事項

(株式関連)

第3期(平成27年12月4日現在)

(単位:円)

区分	種 類	契約額等		時 価	評価損益
四月	1至 754	大小74点	うち1年超	- гу рц	可順识
市場取引	株価指数先物取引				
	売建	1, 605, 652, 730	_	1, 582, 525, 100	23, 127, 630
合計		1, 605, 652, 730		1, 582, 525, 100	23, 127, 630

第4期(平成28年12月4日現在)

(単位:円)

区分	種 類	契約額等	うち1年超	時 価	評価損益
市場取引	株価指数先物取引				
	売建	1, 304, 347, 112	_	1, 334, 963, 056	△30, 615, 944
合計		1, 304, 347, 112	_	1, 334, 963, 056	△30, 615, 944

(注) 1. 時価の算定方法

株価指数先物取引の時価については、以下のように評価しております。

原則として計算期間末日に知りうる直近の日の主たる取引所の発表する清算値段又は最終相場で評価しております。

このような時価が発表されていない場合には、計算期間末日に最も近い最終相場や気配値等、原則に準ずる方法で評価しております。

- 2. 株価指数先物取引の残高は、契約額ベースで表示しております。
- 3. 契約額等には手数料相当額を含んでおります。
- 4. 契約額等及び時価の合計欄の金額は、各々の合計金額であります。

(関連当事者との取引に関する注記)

該当事項はありません。

(1口当たり情報に関する注記)

第 3 期	第 4 期		
(平成 27 年 12 月 4 日現在)	(平成 28 年 12 月 4 日現在)		
1 口当たりの純資産額 12,208円	1 口当たりの純資産額 10,262 円		